

ワコールグループの歩み

創業者 塚本幸一の「世のため人のために尽くす」という志と、「美しさを通じて社会に寄与する」という信念を原点に、相互信頼を柱とした経営を貫き、幾多の困難を乗り越えてきました。



1949年に発売した「ブラパット」

1946年

創業の日

戦後に生還した塚本幸一が婦人装身具の商売を開始。1949年、ブラパットとの出会いが事業を飛躍させ、ワコールの礎となった



高島屋京都店の売場

1950年

百貨店への出店

高島屋京都店に出店。洋装化の流れを捉え、婦人下着の自社製造を開始した

売上高の推移

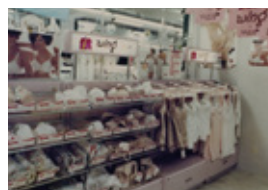


1960年代後半の人体計測の様子

1964年

人間科学研究の開始

製品研究部を設立。人体計測に基づくサイズ体系の確立など製品開発を革新し、事業の根幹を支える人間科学研究所（現在の人間科学研究開発センター）へと発展



量販店の「ウイング」売場

1975年

量販店チャネルの開拓

量販店に専用売場を設け、価格を守る条件で「ウイング」を展開し、事業拡大の転機に



米国ワコールのオフィスビル

1981年

海外市場の拡大

米国・香港・中国へ展開開始。米国では苦戦も品質と販売方針を貫き、1995年に黒字化を達成



直営店の売場

2001年

直営店事業の開始

原宿に初の直営店「Subito」を開設し、立地や客層に応じた店舗展開で顧客拡大に挑戦



ワコールヨーロッパのファッションショーの様子

2012年

欧州市場へ本格展開

英国のイヴィデン社を買収し、欧州でのブランド展開と収益基盤強化を実現



3D計測サービス「SCANBE(スキャンビー)」

2025年3月期連結売上高
1,738億96百万円

2025年3月期海外売上高
672億37百万円
海外売上比率
38.7%

1946年 1950年 1960年 1970年 1980年 1990年 2000年 2010年 2020年 2024年